

米国 総合がゼロも個別項目は良い内容(07年8月フィラデルフィア連銀製造業景況指数)

発表日：2007年8月16日（木）

～個別項目である新規受注、出荷、雇用は高い水準を維持～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

- 8月のフィラデルフィア連銀製造業景況指数（フィラデルフィア連銀管轄地区の製造業、ゼロが拡大縮小の分岐点）は+0.0と市場予想の+8.6を大幅に下回った。ただし、個別の項目をみると新規受注、出荷が高い水準を維持、雇用は大幅に上昇しており同地区製造業が堅調さを維持していることを示している。さらに、この統計は月次での変動が大きいので、3ヵ月移動平均でみると、総合指数も同地区製造業部門が拡大ペースを速めていることを示している。
- 8月はNY連銀製造業景況指数、フィラデルフィア連銀製造業景況指数がともに低下した。また、ISM製造業景況指数に先行するISM製造業新規受注・在庫比率が7月に低下したことから、8月のISM製造業景況指数は53.0と7月の53.8から小幅低下すると予想される。
- 総合指数が予想を大幅に下回ったため、公表直後ドルが対円で売られ一時112.01円まで円高が進んだ。債券利回りは低下、株価は下落した。

フィラデルフィア連銀製造業景況指数

	現状 総合	新規受注	出荷	在庫	雇用	出荷遅延	受注残	販売価格	仕入れ価格	交易条件	6ヵ月先見通し 総合
06/11	5.4	▲ 1.1	7.8	5.3	3.0	1.8	▲ 5.5	7.4	25.2	▲ 17.8	9.1
06/12	▲ 2.3	▲ 0.9	14.0	▲ 0.9	7.5	▲ 4.9	▲ 18.6	8.9	19.0	▲ 10.1	5.4
07/01	8.3	1.3	23.9	0.4	7.9	▲ 7.1	▲ 15.4	11.6	11.9	▲ 0.3	22.4
07/02	0.6	▲ 0.5	1.7	▲ 1.9	▲ 0.4	▲ 6.3	▲ 10.5	9.4	15.8	▲ 6.4	20.3
07/03	0.2	1.9	6.8	▲ 3.7	2.3	▲ 13.2	▲ 20.9	16.3	21.8	▲ 5.5	17.4
07/04	0.2	2.8	4.3	▲ 3.1	2.5	▲ 11.9	▲ 13.7	5.2	24.3	▲ 19.1	25.8
07/05	4.2	8.7	9.3	▲ 6.9	12.9	▲ 8.2	▲ 9.1	2.2	32.3	▲ 30.1	30.8
07/06	18.0	18.3	5.0	▲ 8.2	5.6	▲ 3.5	▲ 0.7	5.1	29.7	▲ 24.6	16.7
07/07	9.2	11.3	20.3	0.8	4.1	▲ 1.1	3.2	8.8	28.1	▲ 19.3	30.4
07/08	0.0	7.1	12.4	▲ 4.8	21.2	▲ 2.1	▲ 2.1	6.8	15.4	▲ 8.6	36.2

(出所)フィラデルフィア連銀

0.0と前月から低下

07年8月のフィラデルフィア連銀製造業景況指数（フィラデルフィア連銀管轄地区の製造業、ゼロが拡大縮小の分岐点）は+0.0と市場予想の+8.6を大幅に下回った。ただし、個別の項目をみると、新規受注、出荷が高い水準を維持し、雇用は大幅に上昇しており同地区の製造業が堅調さを維持していることを示している。さらに、この統計は月次での変動が大きいので、3ヵ月移動平均でみると、総合指数も同地区製造業部門が拡大ペースを速めていることを示している（2Pグラフ参照）。

同地区の生産は目先鈍化が見込まれる

現状判断を個別にみると、新規受注がプラス幅を縮小したが6、7月の高い水準だった影響であり、受注環境は比較的良好といえよう。インフレ面では、引き続きコスト削

減圧力の強い状況が持続している。ただし、仕入れ価格が大幅に鈍化しており川上からのインフレ圧力がやや緩和している。一方、販売価格が前月から小幅低下にとどまったことから、交易条件は改善している。このような中、雇用指数が+21.1とプラス幅を大幅に拡大したことから、同地区製造業雇用の拡大が示唆されている。

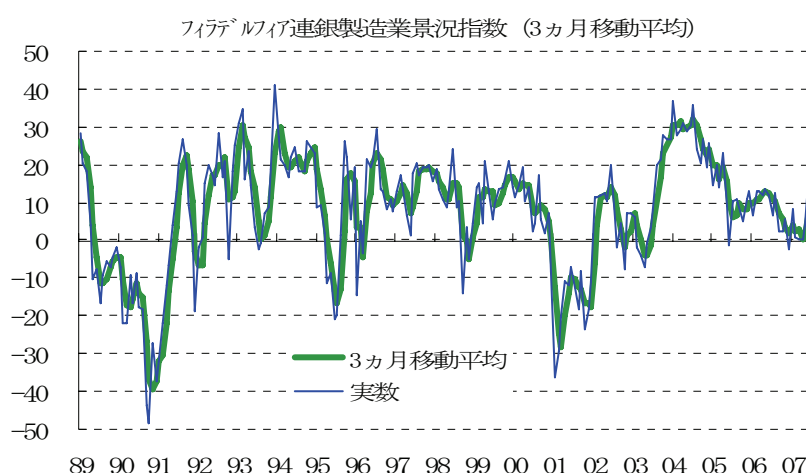
半年後の見方は楽観的な見方を維持

先行きに関する調査では、半年後の景況感を示す指数が+36.2と7月の+30.4から上昇し、半年後の新規受注も高い水準を維持し、楽観的な見方の強い状況が続いている。半年後の収益環境では、「販売価格が上昇するとの見方の割合」の低下幅を「仕入れ価格が上昇するとの見方の割合」の低下幅が下回ったことから、交易条件の悪化が予想されている。このような見通しのもと、在庫の減少が見込まれており企業はコスト抑制のために在庫の削減を継続するとみられる。一方で、現状の雇用指数が大幅に上昇したなかで、雇用のプラス幅が拡大していることから、採用の大幅な拡大を示唆している。

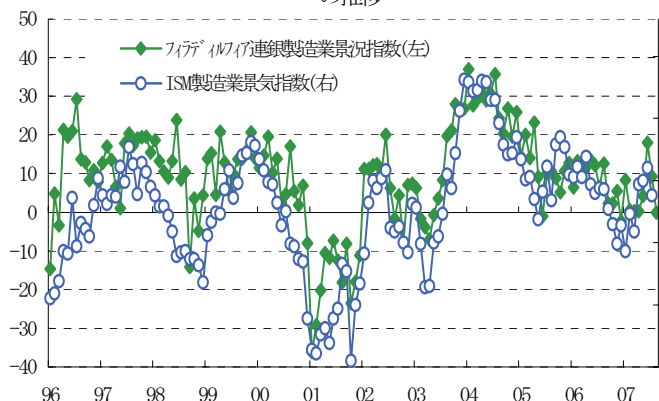
以上のように、今後もフィラデルフィア地区連銀管轄の製造業はコスト削減策を継続する可能性が高い。一方で、半年後の設備投資見通しが+26.3と前月から上昇しており、同地区製造業の設備投資拡大ペースの再加速を示唆している。

8月のISM製造業景気指数は前月から小幅低下する可能性

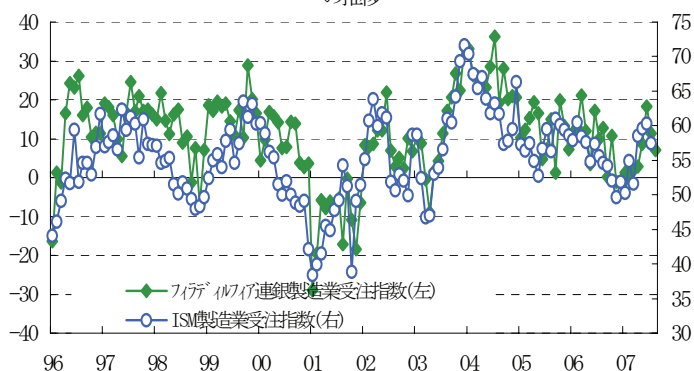
フィラデルフィア連銀製造業景況指数は、ペンシルベニア州東部、デラウェア州、ニュージャージー州南部の製造業の景況感を表す指標であるが、全国の製造業の景況感を示すISM製造業景気指数と似た動きをすることが多い。8月はNY連銀製造業景況指数（エンパイア・ステイト景況指数）、フィラデルフィア連銀製造業景況指数がともに低下した。また、ISM製造業景気指数に先行するISM製造業新規受注・在庫比率が7月に低下したことから、8月のISM製造業景気指数は53.0と7月の53.8から小幅低下すると予想される。



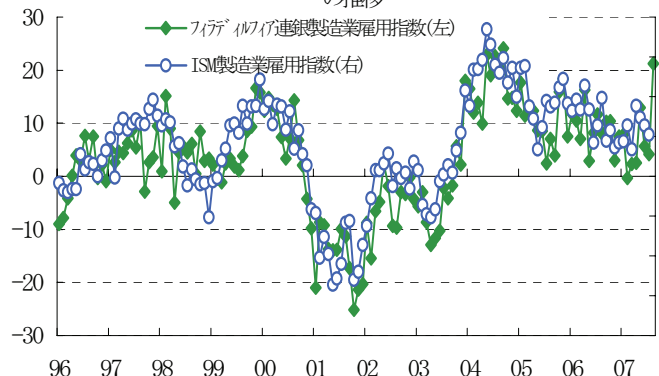
フィデリアル・バンク製造業景況指数とISM製造業景況指数の推移



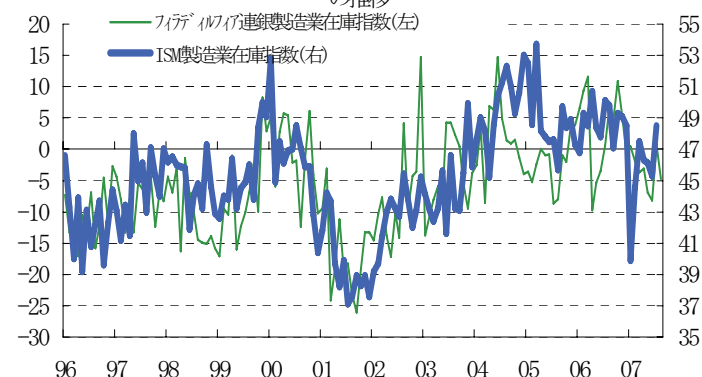
フィデリアル・バンク製造業受注指数とISM製造業受注指数の推移



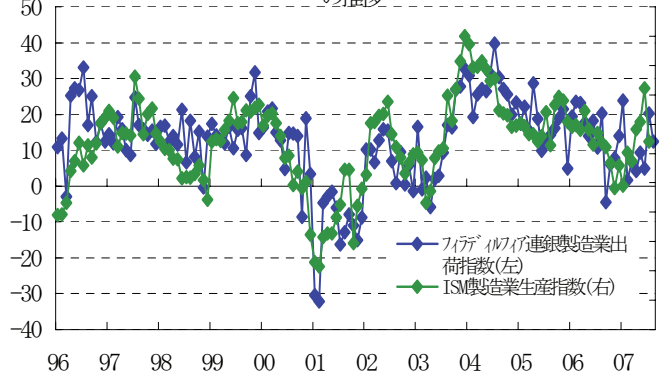
フィデリアル・バンク製造業雇用指数とISM製造業雇用指数の推移



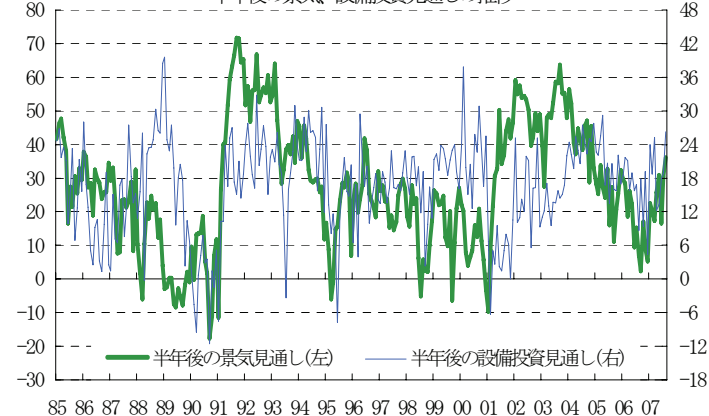
フィデリアル・バンク製造業在庫指数とISM製造業在庫指数の推移



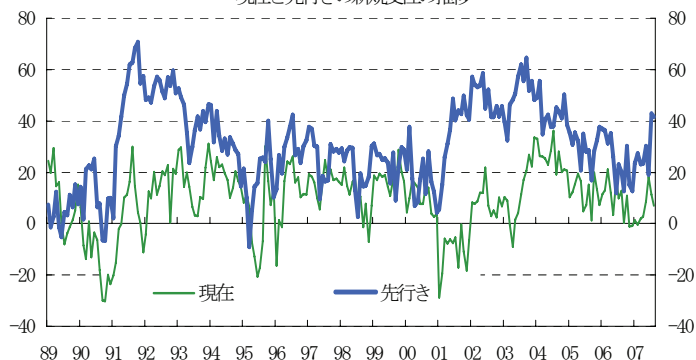
フィデリアル・バンク製造業出荷指数とISM製造業生産指数の推移



半年後の景気、設備投資見通しの推移



現在と先行きの新規受注の推移



NY連銀製造業景況指数の推移

